

アルキンの選択水素化触媒

安価な元素にて、三重結合を持つアルキン(C_nH_{2n-2})から二重結合をもつアルケン(C_nH_{2n})へ選択的に水素化除去し、その高転化率(ほぼ100%)と高選択率(90%以上)を達成!

概要

エチレン(C_2H_4)からポリエチレンを合成するプロセスにおいて、原料エチレン中の微量アセチレン(C_2H_2)不純物が合成を阻害してポリエチレンの品質を低下させてしまうといった課題がある。よって、一般的に、エチレン(C_2H_4)等のオレフィン化合物を製造するためには、オレフィン化合物に含まれる微量なアセチレン(C_2H_2)等の高不飽和化合物をオレフィンに選択的に水素化し除去すること(プロピレン(C_3H_6)原料中のプロペン(C_3H_4)除去も同様)が求められており、現在は、主にリンドラー触媒などパラジウム(Pd)系の触媒が使用されている。

本発明は、高価な貴金属を使用せず、安価な元素を使用し、三重結合を持つアルキン(C_nH_{2n-2})から二重結合をもつアルケン(C_nH_{2n}):オレフィンへ選択的に水素化除去し、その高転化率(ほぼ100%)と高選択率(90%以上)を達成した新規触媒に関する。

効果

高転化率(ほぼ100%)と高選択率(90%以上)

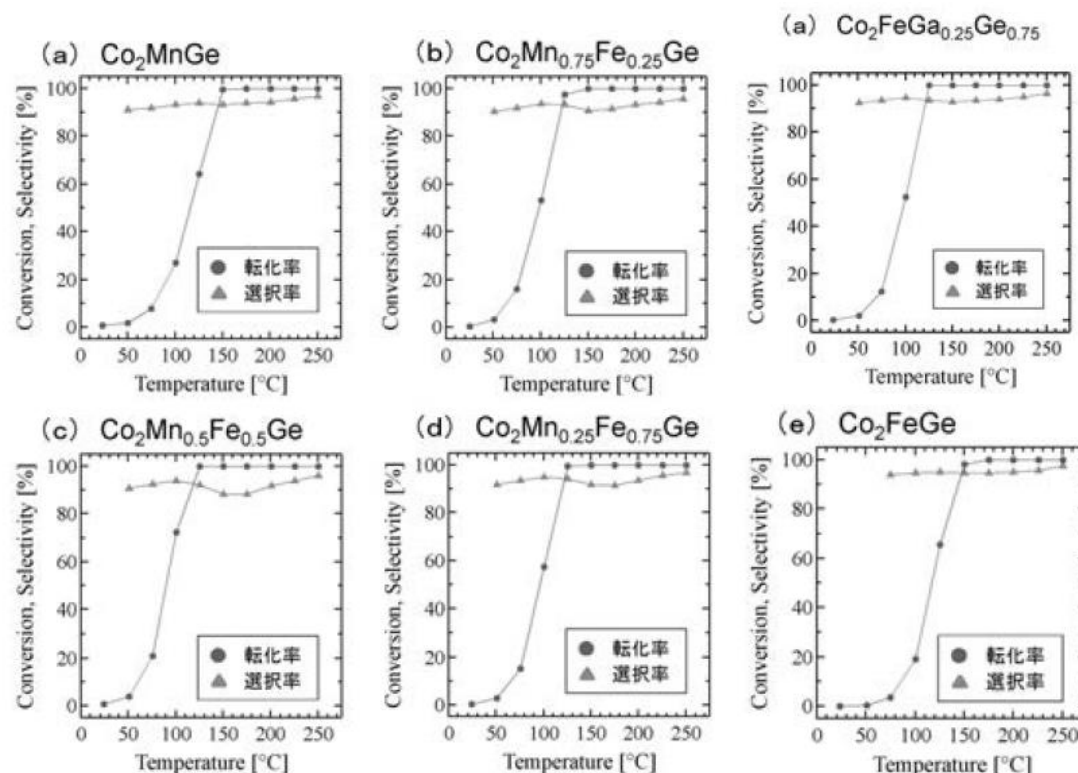
応用先

アルキンの選択水素化触媒

特許データシート

特許番号(整理番号): 特開2019-89039 (T16-208)

発明者: 小嶋 隆幸、他



連絡先

株式会社 東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049 FAX 022-222-3419

お問い合わせは、[こちら](#) からお願い致します。